

令和3年12月15日

議員各位

産業文教常任委員会

委員長 河野 龍二

委員長報告書

産業文教常任委員会に付託された議案等の審査結果について、会議規則第41条の規定により報告いたします。

1.審査期間：令和3年12月13日～15日

2.付託された議案等

議案番号	件名	結果
68	令和3年度長与町一般会計補正予算（第9号）	全会一致 可決
70	令和3年度長与町下水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致 可決

産業文教常任委員長報告

令和3年12月13日

出席委員 河野 龍二 八木 亮三 西田 健 浦川 圭一 中村 美穂

竹中 悟

欠席委員 吉岡 清彦

説明員 関係所管管理職並びに職員

議案第68号 令和3年度長与町一般会計補正予算（第9号）

【提案理由・主な内容】

<建設産業部>

産業振興課の歳入では、ふるさと長与応援寄附金7千万円の増額。当初8千万円と見込んでいたが、前年度との伸びを比較し寄附見込額を1億5千万円に。

歳出では、ふるさと長与応援寄附金に関連する経費にともなう増額。

土木管理課では第2表繰越明許費の河川費、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業3,220万円は事業採択後に調査設計業務及び工事となり年度内完成が困難なことから翌年度へ繰り越し、また第4表ではがけ崩れ対策事業の起債限度額を720万円追加。

歳入では、県補助金2,415万円増額、土木債720万円増額。いずれも8月豪雨で発生したがけ崩れの対策工事費等に充当。

歳出ではがけ崩れ対策にかかる委託料1,180万6千円、工事費2,039万4千円の計上。この他道路台帳整備にかかる費用390万円。

<教育委員会>

教育総務課・学校教育課の歳入では、長与第二中学校校舎屋上防水工事に伴う中学校施設整備事業債3,840万円の増額。

歳出では、新型コロナウイルスの影響により渡航延期になっていた外国語指導助手2名の渡航費用不足などに32万円。長与第二中学校校舎屋上防水工事にかかる費用4,983万円を計上。

生涯学習課では歳出で、産休に入る職員の代替費用にかかる経費を計上。

【主な質疑】

質 疑：ふるさと長与応援寄附金は昨年度と同じくらいになるのか。

答 弁：令和2年度が9,800万円ほどだったので、4割ほど増える予想。

質 疑：増えた要因は。

答 弁：返礼品が増えたことや、定期便、商品の組み合わせ、農産物の追加もあり寄附の増加となっていると思う。

質 疑：がけ崩れの対策工事費が繰越明許費と同時に計上されているが工期の設定は。

答 弁：現地の分筆や測量、土壌調査などで測量設計委託が来年5月頃になる予定。

工事はすべて繰り越しとなり、来年度末までの工期で考えている。

質 疑：第二中学校校舎は雨漏りで使えない教室があると聞いているが、現状はどうなっているのか。

答 弁：教室を変えて授業を行っている。

質 疑：外国語指導助手の渡航に対する新型コロナウイルスの対策は。

答 弁：入国後に JET プログラムが用意したバスで移動、指定の宿泊療養施設で 2 週間待機し、その間も検査と体調管理を確認し、本町に来た。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。

議案第 70 号 長与町下水道事業会計補正予算（第 2 号）

【提案理由・主な内容】

第 2 条収益的収入及び支出において、下水道事業費用を 139 万 3 千円増額し、補正後の費用総額を 9 億 3,953 万 4 千円。企業債の繰上償還に伴う補償金の増額。

第 3 条資本的収入及び支出では、資本的支出を 2,489 万 6 千円増額し、補正後の支出総額を 6 億 685 万 3 千円。企業債の繰上償還に伴う償還金の増額。

平成 30 年度から令和元年度に繰り越した事業が、事業完了となる元年度に借り入れすべき金額を 30 年度の事業対象経費に含めていたため、繰上償還が必要となった。

【主な質疑】

質 疑：今回のような繰上償還のケースはよくあるのか。

答 弁：全国的にみればあると思う。

質 疑：30 年度の一部の償還とあったが全額でないのはなぜか。

答 弁：事業内容に該当する部分だけが対象となった。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。